

貯法：室温保存
有効期間：3年

速乾性擦り込み式手指消毒剤

ベンザルコニウム塩化物液

オスバンピング[®]
OSVANRUBBING[®]

日本標準商品分類番号

872619

承認番号 20600AMZ01502

販売開始 1995年11月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
損傷皮膚及び粘膜には使用しないこと〔刺激作用を有する。〕

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	オスバンラビング
有効成分	100mL 中 日局 濃ベンザルコニウム塩化物液 50 0.39g (ベンザルコニウム塩化物として 0.2g)
添加剤	エタノール、トリスオクタン酸グリセリン、DL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム液、香料

3.2 製剤の性状

販売名	オスバンラビング
性状	本剤はエタノールを含有する無色澄明の液

4. 効能又は効果

医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒

6. 用法及び用量

〈医療従事者の通常の手指消毒の場合〉

本剤約 3mL を 1 回手掌にとり、乾燥するまで摩擦する。ただし、血清、膿汁等の有機物が付着している場合は、十分に洗い落した後、本剤による消毒を行う。

〈術前・術後の術者の手指消毒の場合〉

手指及び前腕部を石けんでよく洗浄し、水で石けん分を十分洗い落した後、本剤約 3mL を手掌にとり、乾燥するまで摩擦し、更にこの本剤による消毒を 2 回繰り返す。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	紅斑、そう痒感、浮腫等
皮膚	刺激症状

14. 適用上の注意

14.1 薬剤使用時の注意

- 14.1.1 手指消毒以外の目的には使用しないこと。
14.1.2 経口投与しないこと。
14.1.3 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
14.1.4 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
14.1.5 反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
14.1.6 血清・膿汁等の有機物は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分洗い落してから使用すること。
14.1.7 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落してから使用すること。

14.1.8 引火性があり、爆発の危険性があるため、火気には十分注意すること。

14.1.9 本剤で消毒した手指で、2.5kg 以下の低出生体重児を取扱う場合、低出生体重児の皮膚がかぶれることがあるので十分注意すること。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

タンパク変性及び酵素の切断、糖の分解と乳酸の酸化など代謝への作用、膜透過性障害による溶菌、リン及びカリウムの漏出、解糖の促進、原形質膜の活動を支える酵素に対する作用などが考えられている¹⁾。

18.2 殺菌作用

本剤はベンザルコニウム塩化物を有効成分とするエタノール溶液であり、院内感染起因菌〔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) を含むグラム陽性菌 (6 株) 及びグラム陰性菌 (8 株)〕に対して殺菌効果を示した。また、ウイルスの一部 (アデノウイルス 5 型、ポリオウイルス 2 型、インフルエンザウイルス A 香港型、ムンプスウイルス、単純ヘルペスウイルス 1 型) に対して不活化効果を示した。しかし、芽胞を形成する細菌 (炭疽菌、破傷風菌等) に対する殺菌効果は期待できない。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般名：ベンザルコニウム塩化物 (Benzalkonium Chloride)

化学名：Alkylbenzyltrimethylammonium chloride

分子式：[C₆H₅CH₂N(CH₃)₃]⁺Cl⁻

R=C₈H₁₇~C₁₈H₃₇ (主として C₁₂H₂₅ 及び C₁₄H₂₉、本剤の場合、R は C₁₂H₂₅ が 80~85%、C₁₂H₂₅ + C₁₄H₂₉ が 98%以上)

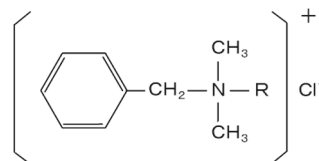
分子量：354.01 (C₂₂H₄₀ClN として)

性状：白色～黄白色の粉末又は無色～淡黄色のゼラチン状の小片、ゼリー様の流動体若しくは塊で、特異なおいがある。

水又はエタノール (95) に極めて溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

水溶液は振ると強く泡立つ。

構造式：



20. 取扱い上の注意

- 20.1 外箱開封後は遮光して保存すること。
20.2 火気を避けて保存すること。

22. 包装

1,000mL [瓶]

23. 主要文献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書。廣川書店；2021。C-5820-5824

24. 文献請求先及び問い合わせ先

富士製薬工業株式会社 富山工場 学術情報課
〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂 1515 番地
(TEL) 0120-956-792
(FAX) 076-478-0336

25. 保険給付上の注意

本剤は保険給付の対象とならない（薬価基準未収載）。

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

 **富士製薬工業株式会社**
富山県富山市水橋辻ヶ堂 1515 番地